

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

・ 氏名	菅家 遼平
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科
・ 学年(渡航開始時)	3
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型
・ 国・地域名	タイ
・ 都市名	Thonburi
・ 留学先大学名	King Mongkut's University of Technology Thonburi
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)
・ プログラム期間	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2020年8月 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2020/12/1
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期 <input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期 <input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期 <input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期 <input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上 <input checked="" type="checkbox"/> 3年後期 <input type="checkbox"/> 4年前期 <input type="checkbox"/> 4年後期
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	KMUTTはコロナ禍の影響で渡航が困難になった中、早い段階でオンラインでの授業を受け入れていた。またそれらの留学先の中で、CSの講義を選択できたため。さらにKMUTTはタイの中でもトップレベルの大学であり、力になると考えた。
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。(SIT指導教員の紹介等)	

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取れ、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	システム理工学部の国際プログラムに所属していたため。一般プログラムの3年後期の必修科目を、半期の渡航などの条件に免除となり、休学は必要なくなる。ただし今回はコロナ禍の影響で実際に渡航することはなかった。しかし例外として条件を満たす扱いにしてもらえた。

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

CS分野の講義をオンラインで3つ受講した。現地の先生が英語で行うのを、現地の学生や留学生に混じって受けた。ひと講義、週1回3時間でテストを含め17週に渡る。2つの講義でチームでテーマを決め、取り組むという課題が出た。残りの講義でもチームを組んで開発を行う、という課題が出た。チームで話し合っ進めていくのは大変だが、習った技術を使えているのがわかった。オンラインという場であったが、それでも日本にはないアクティブさを感じ取る事ができた。また課題もプロジェクトベースであったり、クラス全体に向けて発表することも頻繁に行った。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Artificial Intelligence	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	AIとはなにか? という概論から、簡単なグラフ探索、推論やニューラルネットワークなどのシンプルな機械学習まで順に扱う。まさしくAIという講義。また講義に加え、チーム単位で画像認識AIか、ゲームAIのどちらかを開発するプロジェクトも並行して行った。講義の中でそれぞれの進捗を発表し、最後の講義でクラス全体に向けデモを含めたプレゼンを行った。		
科目名②	Introduction to Distributed Systems and Parallel Computing	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	分散システムと並列処理。		
科目名③	Special Topic IV : Cognitive Computing	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	Cognitive Computingとは、AIと似ているが、より人間のように考え、学習し、人間をサポートしてくれるシステムのこと(cognitive: 経験的知識に基づいた)。そこで講義ではまずシステム思考について学ぶ。そしてシステム思考を用いてチームでテーマを決定し、開発、短い論文にまとめ、発表を行った。先行研究を調べたり、論文を書いたり大変。しかも英語。しかしテストがなく、レポートだった。		
科目名④		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

ある講義でチームを組んだ現地の学生にはとてもお世話になった。彼はひとつ上の4年生で、総合研究と並行して講義をとっており、私より様々なことを知っていた。そんな彼と「何をやるか？」から6ページの論文(全て英語！)を書き上げるところまで一緒に行った。流暢でない英語を根気よく聞いてくれ、相手に2・3度説明を求めるときもしょっちゅうだったにも関わらず、この経験から伝えたいことは「現地のスーパーマンに頼って良い」ということ。相手も笑いながら教えてくれるものだ。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

英語は実践で磨くもの、と振り返って思う。今回オンライン留学ではあったものの、それでも毎週9時間必死に英語を聞き、読み、理解しようとしたことになる。講義の最初の頃は正直半分程度右から左へ流れていた自信がある。当初は12月まで大丈夫かととても不安だった。しかし結局最後にはほとんど聞き取れるようになっていた。実際に留学後のTOEICのスコアは(IPではあるが)、留学直前と比べてReadingが85点、Listeningが65点上がっていた。オンライン留学中は英語の勉強はしていなかったにも関わらずだ。ある程度勉強して英語の基礎を身に着けた後は、実際に使用することが有効だと声を大にして言いたい。

現地の学生のアクティブさを(画面越しに)肌で感じた。日本の講義では質問が一つも飛ばないことはザラだ。先生の問いかけに対する反応も薄い。KMUTTIはそんなことはなかった。また逆に先生の方からの問いかけもよりアクティブだった。日本人は静かだ。そんな話を留学前に聞くことはあった。しかし積極的に参加する風潮は、話で聞くのと実際に感じるのでは大きく違った。是非肌で感じて、共感してもらいたい。

オンライン留学の利点として、就活が可能である点を強調したい。本来国際プログラムは半年間、おそらく3年後期に留学する。その間インターンを含む就活ができなくなる。もちろん帰国後でも1月以降可能ではあるが、3年後期に日本にいないのは就活がしづらくなるのは間違いない。しかしオンライン留学では就活を並行して進められるため、院進を考えていない人でも選択することができるだろう。

留学お金かかりませんでした！そういう点ではオンライン留学も悪くないですよ!!(観光は出来ないが…)

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)

現地の講義のスケジュール確定が遅い事に注意してほしい。科目については、そもそもコロナ禍初期だったので、選択肢は多くなく、悩むほど選択肢はなかった。ただしオンライン留学だったために芝浦の講義を同時に受講できた。そして現地の科目の申請を締め切った段階で芝浦でどうしても取りたかった講義と被ってしまい、取ることが出来なかった。そのため予定より1科目少ない数を受講することになった。臨機応変さも求められるので、現地の担当の方とメールを頑張ってやり取りが大切。

- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)

- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスがあれば自由に記載してください。

銀行や郵便局に申請する、預金残高証明書は早めに申請しておくこと。書類提出直前まで届かなくて非常に焦った。(コロナの影響でその申請先に留学することは叶わなかったが)

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学者情報

・ 氏名	匿名希望
・ 学部	システム理工学部
・ 学科(コース等)	電子情報システム学科 国際コース
・ 学年(渡航開始時)	3年
・ ウェブ等への体験談掲載への同意	<input type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input checked="" type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望

留学先情報

・ 渡航型/オンライン型	<input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型																
・ プログラムタイプ	<input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型																
・ 国・地域名	タイ																
・ 都市名	バンコク																
・ 留学先大学名	モンクット王工科大学 トンブリー校																
・ 留学期間	<input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度)																
・ プログラム期間	<table border="1"> <tr> <th>プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)</th> <th>2020年8月上旬</th> <th>プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)</th> <th>2020年12月中旬</th> </tr> </table>	プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2020年8月上旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)	2020年12月中旬												
プログラム開始時期 (2021年9月上旬等)	2020年8月上旬	プログラム終了時期 (2021年9月上旬等)	2020年12月中旬														
・ 留学時期 (主に留学をしていた時期にチェックをお願いします)	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1年前期</td> <td><input type="checkbox"/> 修士1年前期</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 1年後期</td> <td><input type="checkbox"/> 修士1年後期</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2年前期</td> <td><input type="checkbox"/> 修士2年前期</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 2年後期</td> <td><input type="checkbox"/> 修士2年後期</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 3年前期</td> <td><input type="checkbox"/> 博士以上</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 3年後期</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4年前期</td> <td></td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 4年後期</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 1年前期	<input type="checkbox"/> 修士1年前期	<input type="checkbox"/> 1年後期	<input type="checkbox"/> 修士1年後期	<input type="checkbox"/> 2年前期	<input type="checkbox"/> 修士2年前期	<input type="checkbox"/> 2年後期	<input type="checkbox"/> 修士2年後期	<input type="checkbox"/> 3年前期	<input type="checkbox"/> 博士以上	<input checked="" type="checkbox"/> 3年後期		<input type="checkbox"/> 4年前期		<input type="checkbox"/> 4年後期	
<input type="checkbox"/> 1年前期	<input type="checkbox"/> 修士1年前期																
<input type="checkbox"/> 1年後期	<input type="checkbox"/> 修士1年後期																
<input type="checkbox"/> 2年前期	<input type="checkbox"/> 修士2年前期																
<input type="checkbox"/> 2年後期	<input type="checkbox"/> 修士2年後期																
<input type="checkbox"/> 3年前期	<input type="checkbox"/> 博士以上																
<input checked="" type="checkbox"/> 3年後期																	
<input type="checkbox"/> 4年前期																	
<input type="checkbox"/> 4年後期																	
・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。	<p>オンライン留学が可能だった。(コロナの影響で渡航できなかった) 先輩の留学実績があった。 学びたい専門科目を履修できた。</p>																
・ (研究室配属型のみご回答ください) 受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。 (SIT指導教員の紹介等)																	

留学中の学籍について

・ 休学の有無	<input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった
・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。 (留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済みであった、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等)	<p>国際コースはセメスター留学が必須であり、休学の必要が無い制度になっている。 単位は十分に取得済みであったが、オンラインでの実施だったため芝浦工業大学の科目も並行して履修していた。</p>

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業は1コマ3時間の講義形式で途中休憩がある。基本的に担当教員が1人とTAがいる場合もある。課題は実習形式でグループで作業をして提出することが多い。成績は課題と中間・期末考査で評価される。グループ作業がある科目では制作物の発表もある。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Artificial Intelligence	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	人工知能についておおまかに学習する。機械学習の実習課題が出る。授業の様子は上に同じ。Pythonを使用する。		

科目名②	Cognitive Computing	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	機械学習、深層学習について学習する。深層学習の実習課題が出る。授業の様子は上に同じ。Pythonを使用する。		

科目名③	Data Science	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	統計解析や多変数解析について様々な手法を学ぶ。Kaggleで精度を評価するようなデータ分析の実習がある。授業の様子は上に同じ。Pythonを使用する。		

科目名④	Distributed Systems	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	ビッグデータの分散処理について、hadoopを中心に学ぶ。難易度は高め。		

科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。

オンライン留学の場合は時差があることに注意。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)

日本以外の国からの留学生もたくさんいます。グループワークがあるので英語でのコミュニケーションに慣れる必要があります。履修する科目のシラバスはしっかり確認しましょう。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。

芝浦工業大学 交換留学プログラム アンケート

留学生情報

- | | |
|-------------------|---|
| ・ 氏名 | 矢島 大路 |
| ・ 学部 | システム理工 |
| ・ 学科(コース等) | 電子情報システム学科国際コース |
| ・ 学年(渡航開始時) | 3年 |
| ・ ウェブ等への体験談掲載への同意 | <input checked="" type="checkbox"/> 氏名も掲載してよい <input type="checkbox"/> 学部・学科まで掲載してよい <input type="checkbox"/> 完全匿名での掲載を希望 |

留学先情報

- | | |
|---|---|
| ・ 渡航型/オンライン型 | <input type="checkbox"/> 渡航型 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン型 |
| ・ プログラムタイプ | <input checked="" type="checkbox"/> 授業履修型 <input type="checkbox"/> 研究室配属型 |
| ・ 国・地域名 | タイ |
| ・ 都市名 | バンコク |
| ・ 留学先大学名 | King Mongkut's University of Technology Thonburi |
| ・ 留学期間 | <input type="checkbox"/> 3ヶ月未満 <input checked="" type="checkbox"/> 3ヶ月～半年 (1セメスター程度) <input type="checkbox"/> 半年～1年 (2セメスター程度) |
| ・ プログラム期間 | プログラム開始時期 (2021年9月上旬等) 2020年8月上旬 プログラム終了時期 (2021年9月上旬等) 2020年12月中旬 |
| ・ 留学時期
(主に留学をしていた時期にチェックをお願いします) | <input type="checkbox"/> 1年前期 <input type="checkbox"/> 修士1年前期
<input type="checkbox"/> 1年後期 <input type="checkbox"/> 修士1年後期
<input type="checkbox"/> 2年前期 <input type="checkbox"/> 修士2年前期
<input type="checkbox"/> 2年後期 <input type="checkbox"/> 修士2年後期
<input type="checkbox"/> 3年前期 <input type="checkbox"/> 博士以上
<input checked="" type="checkbox"/> 3年後期
<input type="checkbox"/> 4年前期
<input type="checkbox"/> 4年後期 |
| ・ 上記協定校を志願した理由を教えてください。 | 渡航が禁止となった直後にいち早くオンラインでの留学を受け付けてくれたため |
| ・ (研究室配属型のみご回答ください)
受入大学の指導教員をどのように探したか教えてください。
(SIT指導教員の紹介等) | |

留学中の学籍について

- | | |
|---|--|
| ・ 休学の有無 | <input type="checkbox"/> 休学をした <input checked="" type="checkbox"/> 休学しなかった |
| ・ 休学せずに渡航した方は、休学せずに渡航できた理由を記載ください。
(留学が必須の学科だった、必修科目が渡航時期になく単位も十分に取得済み、かつ指導教員の許可も得られ、就活前に帰国することができたため、等) | 国際コースのため |

留学先での学習・研究状況

- 留学先での学習・研究状況につき、概要を記載してください。

授業は講義を聴くことが中心ですが、ディスカッションやグループワークの時間も多く設けられています。課題は授業範囲の予習というよりも授業で習ったことについて自分でプログラムをコーディングするという実践的なものでした。また授業はZoomやTeamsを用いて行われていましたが、中間・期末試験は大宮校舎に赴いて筆記試験を受けました。

- 授業を履修した場合、具体的な科目の情報教えてください。
(たくさん履修した場合は適宜追加して記載してください。また科目概要など、欄に収まらない場合は、適宜行の幅を大きくして記載してください。)

科目名①	Data Science	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	どのようなデータを用意すればよいのか、またデータをどのように分析すればよいかを講義しています。課題ではPythonを用いてアメリカの家の家賃についての分析を行いました。		
科目名②	Artificial Intelligence	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	AIの概論、ツリーの探索、エキスパートシステムについて扱いました。授業に並行してグループで行うミニプロジェクト(バイナリ分類器を用いたピザの写真の判定)、ピックプロジェクト(物体認識かゲームAIを用いたシステムの開発)を行いました。		
科目名③	Cognitive Computing	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	主に深層学習について学び、画像を扱った課題に取り組みました。授業外でNVIDIAでの自習とグループ課題に取り組みました。またDesign Thinkingなどのエンジニアとして必要な基礎知識についても学びました。		
科目名④	Distributed Systems and Parallel Computing	単位数 (現地単位数)	3
科目概要	主に分散システムのHadoopについて扱い、マルチキャスト通信での問題と対処などについても学びました。また自分たちでJavaを用いHadoopの実装も行いました。		
科目名⑤		単位数 (現地単位数)	
科目概要			
科目名⑥		単位数 (現地単位数)	
科目概要			

留学先での学習・研究以外の交流活動

- 交友関係、部活、サークル、日常生活などで特筆して後輩に伝えたいことを記載してください。
- グループ活動では現地の学生とも班を作って活動する機会があるので、勉強のことだけでなく相手の国のことについてなども話し合うと面白いです。

自由記述欄

- 留学で感じたこと等、自由に記載してください。
(当初の留学計画を達成していたか、新たな発見があったか、どのような苦労があったか、留学前に準備しておけばよかったと振り返って感じることはあるか、後輩へのアドバイス、等なんでも結構です。)
- 私は当初ベトナムのHUSTに留学予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で現地への渡航ができませんでした。その時にいち早くオンライン留学を設けてくれたのがKMUTTでした。KMUTT側も急な対応でお忙しい中、わざわざ芝浦の学生の留学を受け付けてもらいありがたかったです。実際に現地へ赴いての授業は叶いませんでしたが、オンラインという状況下でも充実した環境で勉学に励むことができました。KMUTTでの授業はほとんどPythonを用いたプログラミングを行いました。私は芝浦ではC言語とJavaしか触れたことがなかったので、始めはついていくのがやっとでしたが慣れていくうちに授業で取り上げられたこと以外にも挑戦しながら進めることができました。後輩の皆さんは実際に現地に留学したいと思う方が多くいると思いますが、オンライン留学でも十分に留学を経験することができます。普段ではできないオンラインでの留学にぜひ挑戦してみてください。

留学手続き時に苦労した点

- 協定校への出願時に苦労した点や、後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
- オンライン留学が受け付け開始されたのが授業が始まる直前だったので必要書類を急にそろえる必要があったのが苦労した。
-
- ビザ申請など、渡航準備時に苦労した点や後輩へのアドバイスがあれば記載ください。(提出すべき書類、準備が大変だった書類など)
(渡航型プログラムのみ。オンライン型は記入不要です。)
-
- その他、準備にあたり、後輩にアドバイスをあれば自由に記載してください。
- 学科の先生は複数人の留学予定者を見なければならぬのでなるべく早く準備を終わらせることが良いと思います。

※画像含むコンテンツの無断転載を禁じます。